

にこまち5(ファイブ)って

自治会・町内会をはじめ地域の活動団体のメンバーで構成される「第五地区懇談会」(愛称:にこまち5)。平成20年度から、地区の現状や課題、目標について話し合い、様々な取組を進めています。



第3期計画策定までの経過

平成26年11月～27年11月に、「にこまち5」を5回、計画編集検討部会を4回開催し、検討しました。第2期計画期間中に進めてきた「あいさつ運動」をはじめとした顔の見える関係づくりについては、「取組を進めるための地域の姿勢」として大切にしながら、第3期の新たな目標に向けて取り組んでいくことになりました。



取組を進めるための地域の姿勢

顔見知りになる
顔の見えるまち

いつでもどこでも
だれとでもあいさつ

子どもたちに
関心をもつ

世代を超えて
ふれあう

名前呼びかけ
声かけ

その他の課題

にこまち5の話し合いの中では、次のような地区の課題も検討されました。第3期の目標ではありませんが、引き続き、みんなで考えたり、取り組んだりしていく必要があります。

●高齢者に対する取組の充実

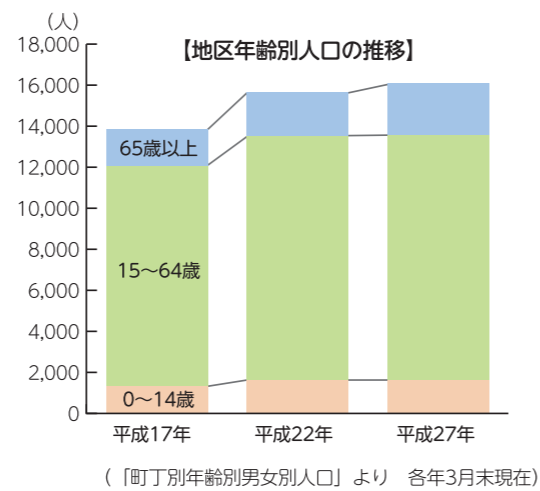
- ▶ 高齢者の見守り
- ▶ 在宅介護の問題
- ▶ 認知症対応

●防災・減災の取組

- ▶ 災害時の情報伝達
- ▶ 防災対策等の周知
- ▶ 災害弱者の安否確認

データでみる第五地区

1世帯あたり人員の平均は1.7人で、西区の平均1.82人を下回ります。また、この10年間、年少人口(0～14歳)も、高齢人口(65歳以上)も増え続けています。

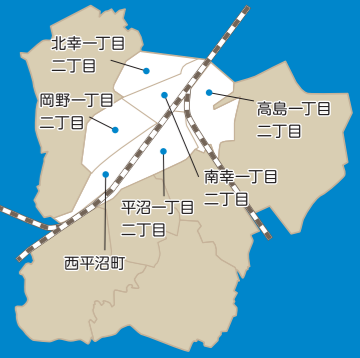


平成28年度～32年度

こやかあわせらしのまちプラン

第五地区

第3期西区地域福祉保健計画
地区別計画



日ごろからの 子どもの居場所を考えます

地域の中にどんな居場所があるとよいのか、子どもたちの意見も聞きながら考えていきましょう

目標
1

子どもたちも地域で役割を担います



行動計画

地域の防災訓練に運営の担い手として参加してもらおう



高齢者の見守り活動やまちの清掃、防犯パトロールなどへの子ども(親子)の参加を働きかけよう

子どもたちが地域活動やボランティアに参加したくなる「活動ポイント」のような仕組みを考えてみよう

目標
2

子どもから高齢者まで世代を超えて 交流できる場所や行事を工夫します

行動計画

小中学生の居場所としての施設の活用を検討しよう

行事の中で子どもが参加しやすく楽しいプログラムを企画し、大勢に参加してもらう方法を工夫しよう



子ども主体のイベントを大人が応援して開催しよう

特技や知識を持った大人がそれを子どもたちに伝える機会をつくろう

地区の 行事や活動

※文中の丸数字は
マップ上の位置



納涼まつり

毎年7月、岡野公園(①)で開催。27年度は第五地区社会福祉協議会とコラボして、「健康と福祉のつどい」の副題で実施しました。



健民祭

毎年10月、全町内会参加で盛大に実施する運動会。町内会対抗リレーなど熱戦が繰り広げられます。(①②で交互に開催)



神社のお祭り

地区内に水天宮平沼神社(③)、岡野神社(④)、近隣地区に浅間神社があり、毎年、地域の子どものみこしが練り歩きます。

地区マップ



防災訓練

2カ所の地域防災拠点(⑤⑥)を中心に年2回実施。住民参加が多く、岡野中学校の生徒さんもお手伝いで参加しています。



親子ふれあい会

月2回、平沼西昭会館(⑦)で開催。季節の行事や遊びの会などに未就学児の親子が参加します。



平沼小見まもり隊

小学校(⑥)の児童の登校時、通学路で安全確認を行います。声かけしながら朝からあいさつ運動。

はじめよう 今日からわたしにできること /

にこやか しあわせ ぐらしのうた

水仙の花が咲いたら 春はもうすぐやってくる
新しいこと何かしたいな そんな気持ちになってくる

はじめよう 今日からわたしにできること
声をかけたら 今日からあなたとお友達

「にこやか しあわせ ぐらしのうた」は計画のイメージソングです。
第五地区ではおまつりなどで広く歌われています。